

第10回 臨海副都心周辺地域における公共交通協議会 議事概要

1. 日時 令和6年1月23日（火曜日）16：30～18：00
 2. 場所 オンライン会議
 3. 出席者 別紙参照
 4. 配布資料 資料1：東京都臨海部地域公共交通計画の調査、分析、評価について
 5. 内容 下記の通り
-

<開会>

（事務局 岡本交通プロジェクト担当課長）

- ・ 本会議は、オンライン形式での開催とする。
- ・ 全委員の3分の2以上が出席しているため、本日の会議は成立している。

<挨拶>

（会長 中村特任教授）

- ・ 本協議会は、臨海副都心地域の効率的な交通体系の構築を図るため、地域公共交通計画の作成及び実施に関する協議を目的とし、平成27年11月に発足した。
- ・ 前回は令和4年4月に開催し、地域公共交通計画の各目標に関する調査・分析・評価の内容について議論した。
- ・ 今回は、引き続きその進捗状況の報告を行い、議論していきたい。

<議事（1）東京臨海部地域公共交通計画の調査、分析、評価について>

（会長 中村特任教授）

- ・ ここからの議事については、協議会規約第9条第6項「公開することにより事業者の事業運営上の不利益が生じる可能性がある協議」に該当するため、非公開とする。

（事務局）

- ・ 資料1について説明

（出席者からの主な意見）

- ・ 虎ノ門ヒルズ駅は、地下道などのネットワークが、計画期間の後半でさらに充実したため、計画目標④「乗継ぎ抵抗の低減」の成果として追加しても良いと思う。
- ・ 新たに設けられた交通拠点（駅）が、人々の滞留空間としてどのように寄与しているかということについて、今後評価した方が良いのではないか。

- ・ 新たな通路等があちこちにつながっていくとき、バス関係の情報の案内が抜け落ちてしまうことがある。本当に使い勝手の良いものとなっているか、注視してほしい。
- ・ 計画目標①について、人口増が理由で数字が押し下げられたのは残念である。ただ、魅力的なエリアだからこそその人口増なので、必ずしもマイナスに捉える必要はないと思う。

<閉会>

(副会長 井川交通政策担当部長)

- ・ 本日は様々な意見や要望をいただいた。
- ・ この協議会の意義や重要性はよく認識しているので、より良い交通網の実現に向けて、皆さまからいただいたご意見に一つずつお答えできるよう進めていきたいと考えている。